

■施工・取扱説明書

D-072(ミラーイヤビネット)

KAWAJUN  
www.kawajun.co.jp

安全上のご注意(必ずお守りください)

※必ず施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。  
※工具が付属の場合は本説明書と共に必ずご使用者様にお渡しください。

■施工を誤った場合、使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

△警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

△注意 この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

! この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

🚫 この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

△警告 取付けに関する警告

※強度のない壁・補強のない壁には取付けないでください。製品が落下してケガをするおそれがあります。  
※石膏ボードをご使用の場合は、12.5mm以下をご使用ください。  
※壁仕上げ前に固定ネジ用の12mm以上の裏板(合板等)を、あらかじめ設けてください。  
※軽鉄への取付けは強度が不足する恐れがあります。必ず木材ネタで補強してください。  
※ALC材・軽鉄・コンクリートブロックなどの中空部には取付けできません。

! 取付け前、必ず製品に輸送中の破損がないことを確かめてください。

! 配線工事は有資格者が行ってください。火災や感電の原因になりますので、一般の方は絶対に工事しないでください。

! 配線工事は主電源を切ってから施工を行ってください。感電のおそれがあります。

! 配線は本体と壁面の間に挟まないよう取付けてください。火災や感電の原因になります。

! 取付け後、必ず製品が完全に固定されているかご確認ください。固定が不完全な場合、落下してケガをするおそれがあります。

! 取付け後、必ず動作確認を行ってください。取付けが不完全な場合、製品のガタつきや落下等の原因となります。

🚫 当製品の鏡は、適正湿度の室内空間向けに防錆処理や防錆性能の確認が行われています。  
屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などの腐食により、製品が落下してケガをするおそれがあります。

🚫 商品の仕様および用途変更、改造は絶対にしないでください。ケガの発生や事故のおそれがあります。

🚫 定格容量を超える接続はおやめください。屋内配線(VVFケーブル)1本に対して、コンセント付きミラーイヤビネットを複数組み合わせたり、他の壁付コンセント等と組み合わせたりして接続しないでください。コンセント部およびコードが発熱して火災、感電の原因になります。

△注意 取付けに関する注意

🚫 製品の表面には直接工具を置いたり掛けたりしないでください。

🚫 取付け後、引き渡しまで養生を外さないでください。

△警告 ご使用に関する警告

! 製品の取付けネジ等が緩んだ場合、必ず締め直してください。ガタついた状態で使用し続けると落下してケガをするおそれがあります。

! コンセントのお手入れは、乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。

! コンセントを濡らしたり、濡れた手で触らないでください。漏電や感電のおそれがあります。  
コンセントが水等で濡れた場合はすぐに乾燥した柔らかい布で拭いてください。

🚫 用途以外のご使用はしないでください。破損してケガをするおそれがあります。

🚫 製品に無理な荷重や強い衝撃を与えないでください。破損してケガをするおそれがあります。

🚫 火気を近づけないでください。火災、延焼または故障の原因になります。

🚫 コンセントは交流100Vを超える電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。

🚫 コンセントは使用電力の合計が1500Wを超えないようにご使用ください。コンセント部およびコードが発熱して火災、感電の原因になります。

🚫 コンセントにプラグを差し込んだまま長期間放置しないでください。ホコリがたまり火災の原因になります。  
プラグを定期的に抜いて、コンセントや電源プラグについたホコリを乾燥した柔らかい布で拭いてください。

🚫 電源コードを束ねたまま電気製品を使用しないでください。発熱による故障や火災の原因になります。

🚫 ミラー扉や丁番の隙間に、電気製品のコードをはさまないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

🚫 コンセントや電気製品が破損や劣化したまま使用しないでください。火災や感電の原因になります。

△注意 ご使用に関する注意

【本体・木棚のお手入れ方法】

美観を保つために定期的な日々のお手入れを行ってください。お手入れは、乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水拭き、または水で薄めた中性洗剤(5%~10%程度)を含ませた布で拭いた後水拭きし、その後乾いた布で水分をしっかり拭き取ってください。お手入れ後は換気を行ってください。  
※中性洗剤以外の洗浄剤は使用しないでください(トイレ用洗剤、塩素系洗剤、酸性・アルカリ性洗剤、クレンザー等使用しないでください)。  
※ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤や、防カビ剤などは使用しないでください。

より詳しい製品のお手入れに関しては、KAWAJUN公式サイトFAQ内の「製品のお取扱いについて」をご確認ください。  
KAWAJUN公式サイトFAQは右記QRコードまたは以下URLからご覧いただけます。  
<https://hw.kawajun.jp/faq/#faq-care>



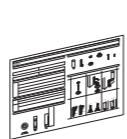
! 定期的なお部屋の換気を適宜行ってください。長期間空気が循環しない環境は、変色・腐食の原因となるおそれがあります。

! 本体や木棚が水等で濡れた場合はすぐに柔らかい布で乾拭きしてください。放置しておくと変色や腐食、劣化して破損しケガをするおそれがあります。

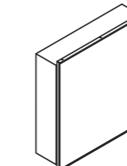
🚫 化粧品や薬品が付着しない様にしてください。付着した場合はすぐに、完全に拭き取ってください。  
放置しておくと変色や腐食、劣化して破損しケガをするおそれがあります。

🚫 コンセント使用後は、必ず電気製品側のスイッチをOFFにしてからプラグを抜いてください。  
コンセント部が損傷し、通電不良になるおそれがあります。

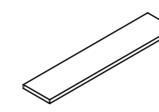
同梱部品(必ずご確認ください)



取扱説明書(本紙)×1



本体×1



木棚×2



棚ダボ×4



棚受け(右)×2



棚受け(左)×2



取付けネジ×4



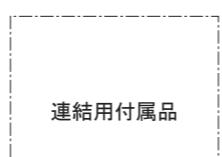
座金×4



化粧キャップ×4



穴隠し×4



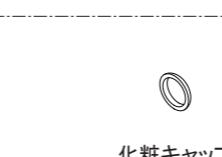
連結用付属品



ジョイントコネクターボルト×2



連結ナット×2

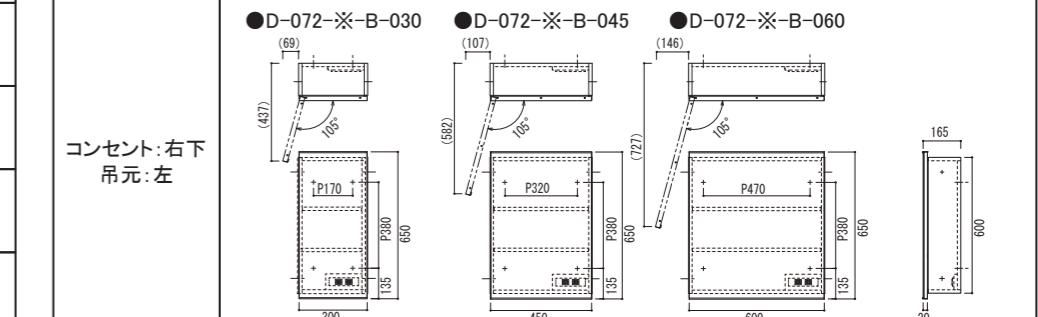
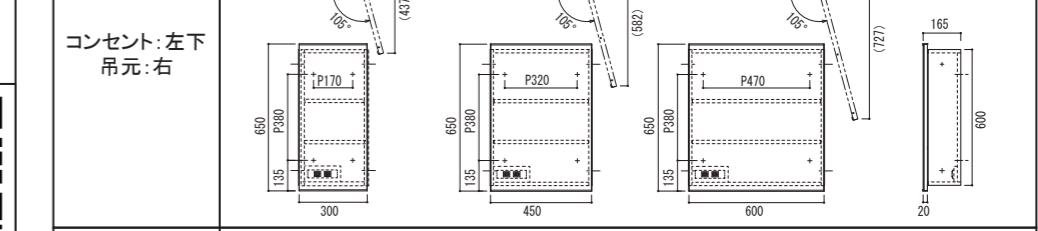
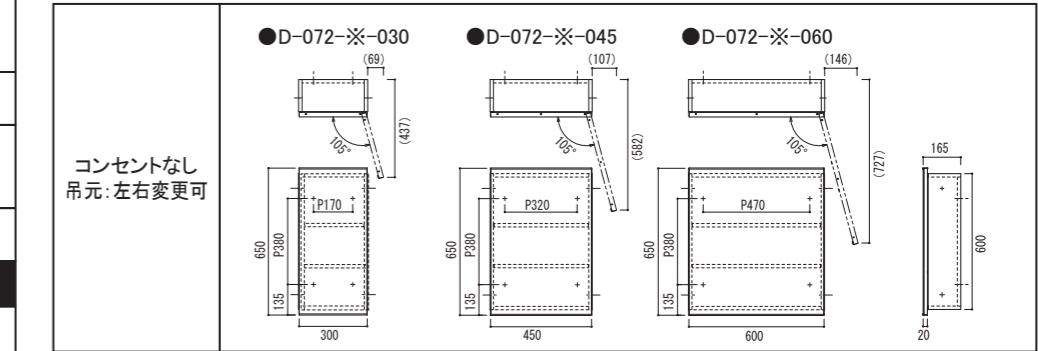


化粧キャップ×4

製品仕様

耐荷重: 19.6N (2kgf)/棚1段

※には色品番が入ります。



壁面切欠き寸法(コンセント付きの場合)



コンセント付きミラーイヤビネットについて、ケーブルを引き出すための切欠きは左図の寸法よりも大きくなるように加工してください。

左の寸法よりも小さく加工すると、コンセントやコードが壁面と接触して正常に取り付けられなかったり、火災や故障の原因になります。

※図はコンセント位置が左下の場合の図です。コンセント位置が右下の場合は、右下に同様にして切欠きを加工してください。

※切欠きのバリ等がケーブルを傷つけないように注意して加工してください。

※切欠きが製品からはみ出で見えないように注意して加工してください。

製品の品番について

D - 072 - 127 - A - 030

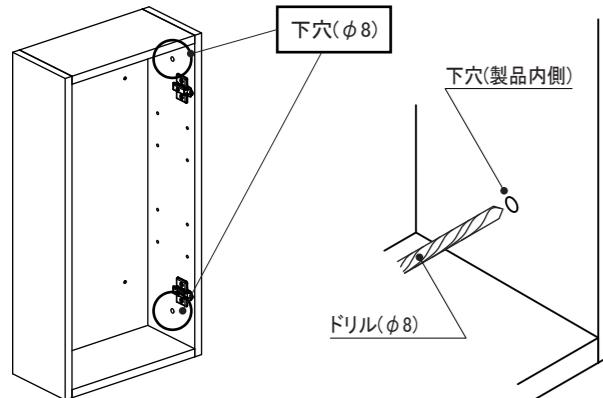
親品番

色品番

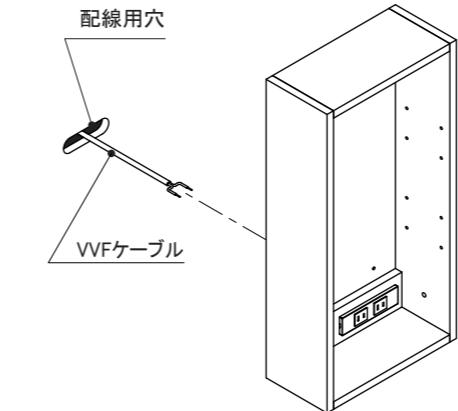
コンセント位置の品番(コンセントありの場合)  
左下:A 右下:B

サイズ品番  
030:W=300 045:W=450 060:W=600

## 連結穴の加工



ミラーキャビネット同士を連結させる場合は、製品内側にある下穴をドリルで貫通させてφ8の連結穴を作ります。  
※左右の連結したい側だけ貫通させてください。  
※市販のドリルガイドを使用する等、垂直に穴を加工してください。  
※コンセント付きの場合は、マスキングテープでコンセント穴をふさぐなどして、加工くずがコンセントの中に入らないようにしてください。  
※加工後は加工くずが残らないように、クリーナーで吸い込むなどして綺麗に掃除してください。



※壁面への取付けやミラーキャビネット同士の連結の前に、壁面に開けた配線用穴からコードを取り出し、被覆をむいてコンセントに差し込んでください。



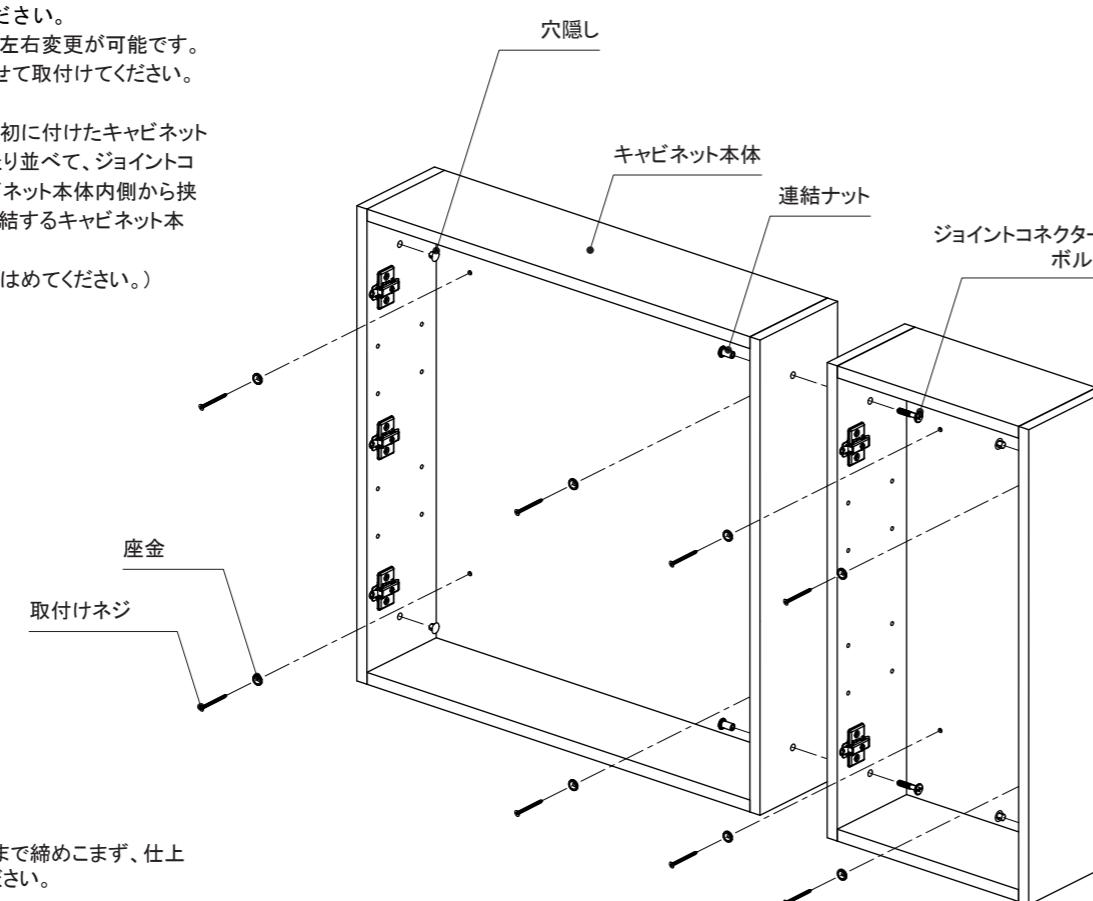
配線工事は有資格者が行ってください。火災や感電の原因になりますので、一般の方は絶対に工事しないでください。

## 取付け手順

## ◎取付け手順

①本体から鏡付扉を取り外し、キャビネット本体のみを水平を取りながら壁面に取付けます。キャビネット本体の取付は、付属の座金を挟むように取付けネジにより、壁面に固定します。  
※取付け前に、設置場所の水平、取り付け壁面の垂直、隅部の直角度などがでているかを確認してください。  
※コンセントなし仕様の場合、吊元の左右変更が可能です。  
吊元変更の際は上下180°回転させて取付けてください。

②キャビネット連結が有る場合は、最初に付けたキャビネット本体に隙間が出ないように、ぴったり並べて、ジョイントコネクターボルトと連結ナットをキャビネット本体内側から挟むようにねじ込み固定してから、連結するキャビネット本体を①同様に壁面に固定します。  
(連結しない側の下穴には穴隠しをはめてください。)

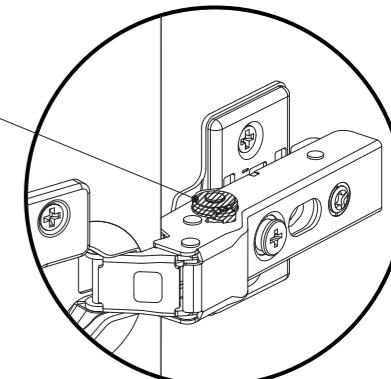


△ 電動工具をご使用の場合は最後まで締めこまず、仕上げはドライバーにて手締めしてください。

## ③壁面に取付いたキャビネット本体に鏡付扉を取付けます。

取付けは「扉(丁番)の取付け方法」をご覧ください。  
※鏡付扉の隙間や角度調整を必ず行ってください。  
※ひとつの丁番に負担をかけないよう、各丁番の様子を見ながら調整してください。  
※丁番のダンパー調節レバーでソフトクローズの速度を調節できます。

ダンパー調節レバー

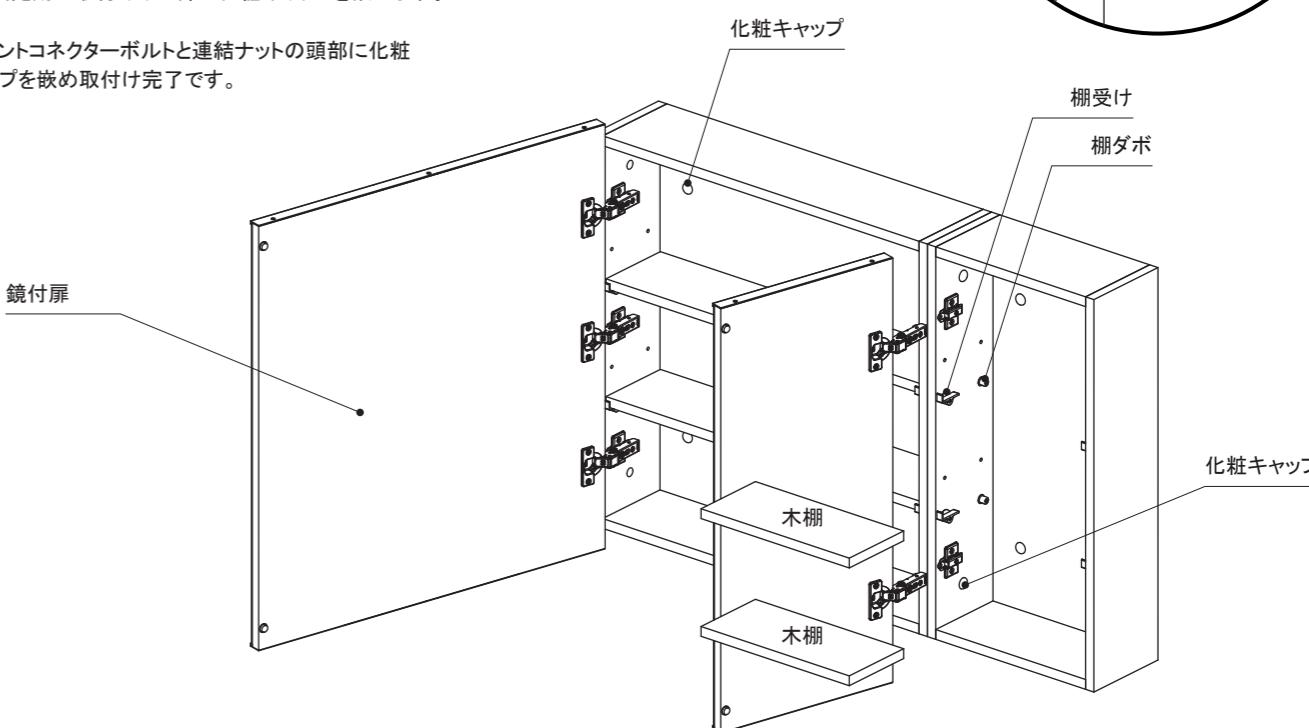


④キャビネット本体内側の側面に付いているダボ穴に棚ダボと棚受け(左右)をお好みの位置に差し込んで取付けてください。棚ダボは奥側、棚受けは手前に取付けます。

⑤木棚をヒンジや扉の出っ張りを避けるよう、斜めに傾けながら取付けます。

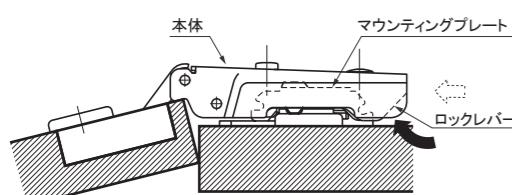
⑥壁面固定用の取付けネジ部に化粧キャップを嵌めます。

⑦ジョイントコネクターボルトと連結ナットの頭部に化粧キャップを嵌め取付け完了です。



## 扉(丁番)の取外し方法

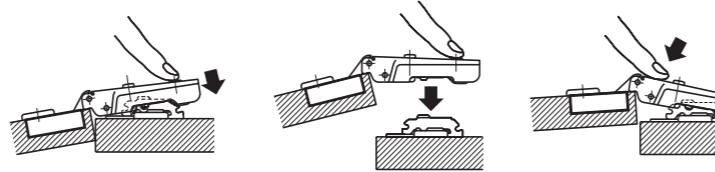
ロックレバーを矢印方向へ押し上げてマウンティングプレートから外して下さい。



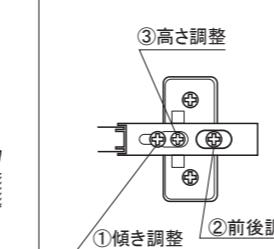
## 扉(丁番)の取付け方法

本体をマウンティングプレートにかぶせるようにして、カチッと音がするまで押し込んで下さい。  
(下記のどのやり方でもはまる様になっております)

※本体がマウンティングプレートに確実に装着されているか確認して下さい。

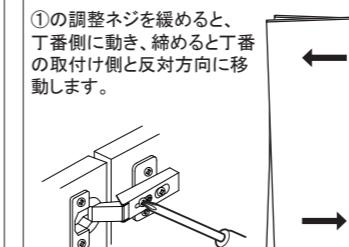


## 丁番の調整機構



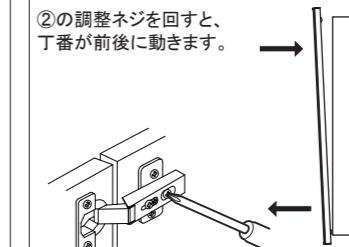
## 1.扉の左右傾きを調整する場合

①の調整ネジを緩めると、丁番側に動き、締めると丁番の取付け側と反対方向に移動します。



## 2.扉の前後傾きを調整する場合

②の調整ネジを回すと、丁番が前後に動きます。



## 3.扉の上下高さを調整する場合

③の調整ネジを回すと、丁番が上下に動きます。

